

明治村 だより

1999 Spring



春号
Vol.15

名鉄沿線ご案内



目次

世界のセト・ノベルティ 服部文孝……………	2
館蔵資料紹介(へ四)	
明治村の雛飾り……………	7
明治村修景改造計画……………	8
明治村の蔵書 其三……………	10
明治村の仕事 2……………	12
明治村茶会案内……………	13
春の明治村……………	14
表紙写真 名古屋衛戍病院前庭 しだれ桜	

『明治村だより』

第十六号発行のお知らせ

発行時期 平成十一年七月(予定)

申込方法 『明治村だより』第十六号ご希望の

旨及びご住所・お名前を明記の上、
送料一四〇円分の切手とともに封書
にてお申し込み下さい。

平成十一年三月十五日発行

『明治村だより』第十五号(平成十一年春)

発行 博物館明治村

愛知県犬山市内山一番地

電話〇五五八八 六七〇三四 千四八四一〇〇〇〇

ホームページ〇http://www.meiokusa.co.jp

製作 大日本印刷株式会社

世界のセト・ノベルティ

瀬戸市歴史民俗資料館 学芸員 服部 文孝



「セト・ノベルティ」って何？

愛知県瀬戸市は、瀬戸焼千三百年の歴史を有する日本を代表する窯業地である。この瀬戸において生産されているやきものは、食器や花瓶や茶器など、いわゆる「瀬戸物」が主流である。皆さんが抱えている瀬戸のやきものに対するイメージも同じものである。しかし、戦後の瀬戸窯業をけん引してきたのは、食器などのやきものではない、海外輸出に生産されていたセト・ノベルティなのであった。

では、ノベルティってどんなものか、皆さんご存じだろうか？陶磁器製の置物や装飾品などを総称して「ノベルティ (Novelty)」と呼んでいるのである。ノベルティには多くの種類があり、古代人形、宗教人形、動物・鳥などの置物、キャラクターもの、スーペリア (観光地のみやげもの)、食器、花瓶、壁掛け、化粧具等々で、その材質も、磁器、半磁器、白雲、ボンチヤイナ等多様である。そして特に戦後、多くの日本製ノベルティが輸出され、欧米の家庭に潤いをもたらしていったが、日本で生産されたほとんどが輸出されていたことや、日本のライフスタイルの中で使用されることもなかったため、現在の日本人にとって大変馴染みの薄いものとなっている。そのため、瀬戸が世界でも有数なノベルティ産地であり、その作品が世界中で高く評価されていたことを知る人は日本では

少ない。しかし、伝統で培われた技術と、瀬戸に産した優れた原料等を駆使したことによって成立したセト・ノベルティは、まさに瀬戸を代表するやきものである。

セト・ノベルティの前身

瀬戸焼千三百年という長い歴史の中、セト・ノベルティの歴史は、現代の二十世紀初頭からという短い期間で、成立・発展・衰退していく。瀬戸における置物、彫像の生産の歴史は、鎌倉時代の窯跡から狛犬が出土しているようにその歴史は古い。特に、江戸時代に入ると、手捻りや木型・土型で、仏像や動物などの置物づくりが行われるようになり、そしてこれらの置物づくりは、江戸時代後期から明治時代初頭にかけて、渡辺幸平によって陶彫という新しい分野として確立されていった。また、ノベルティ製

作技術の基本となる石膏型についても、明治六年(一八七三)にオーストリアのウィーンで開催された万国博覧会を契機として、日本にその技術が伝えられ、実用化されている。特に、陶彫の分野は、六代川本半助や寺内半月、加藤初太郎等はその技術を引き継がれていき、後に加藤初太郎が日本陶器で原型(ノベルティを生産する上で、元となる形を粘土で制作し、それから石膏型をつくるもの)の制作に携わっていることからわかるように、陶彫の技術は、ノベルティ原型制作へとつながっていくのであった。このように、石膏型製法の研究や、陶彫技術の確立が明治時代前期から中期にかけて行われたことにより、セト・ノベルティが成立するための土壌が確立されていった。

瀬戸においては、先にも述べたとおり食器・花瓶などが主力の製品であったが、明治時代中期頃から新たに玩具の生産が始まり、招き猫・稲荷狐・福助・水入れ人形などが生産されていた。その中でも、明治三十六年(一九〇三)には、加藤佐太郎によって陶製の浮き金魚(図1)が生産され始め、最高時には月一万个の売り上げがあったと言う。また、ドイツ製の見本をもとに、裸像やインドの神様を形どった、瀬戸では「インド人形」(図2)と呼ばれるものが生産され始め、輸出されるだけでなく、射的場の的として国内向けにも販売されていった。これらの玩具はボン割と呼ばれる単純な型(二

つ割)で製作されていたため、「人形」というものの、現在の高級人形から見れば、陶器のかたまりみたいなもので、わずかに凹凸がつき、その上を金仕上げにして顔や手足を判別する代物」だったと言う。これらの玩具類が、セト・ノベルティの最初と言えよう。

ビスク人形の生産

大正時代初頭アメリカは、世界最大のノベルティ需要国で、中でも陶磁器製の人形玩具は子供達に大変喜ばれていた。これらは、釉薬をかけたで縮焼しただけの、可愛らしい顔をした幼児の裸形人形で、ドイツから輸入されていたものであった。これらの人形は、総じてビスク人形(図3)と称されていた。このアメリカ市場に目をつけたのが森村ブラザーズ(現ノリタケカンパニーリミテド)であった。そして、ドイツ製のビスク人形の見本を瀬戸にもたらし、瀬戸で試作させ、多くの努力の結果、その生産にまで辿りついている。時あたかも、第一次世界大戦が勃発し、当時世界最大のノベルティ生産国であったドイツからの供給が途絶えていく頃であった。瀬戸で生産されたノベルティをアメリカへ出荷してみると、ドイツ製に劣るとは言え、飛ぶように売れていったのであった。これは、瀬戸にとって大きな転機であり、以後、多くのノベルティメーカーが誕生するきっかけ

となった。

セト・ノベルティと丸山陶器

セト・ノベルティの歴史を語る上で、丸山陶器のことは欠かせない。セト・ノベルティ発展の歴史は、丸山陶器の歴史でもあると言っても過言でないくらいである。丸山陶器の創業者山城柳平(一八八六―一九六五)は、山梨県に生まれ、陶器の行商をしていた兄の紹介で、明治三十三年(一九〇〇)、瀬戸の陶器商丸カ商店に奉公する。そこで、先に述べた浮かぶ金魚やインド人形などの取り扱いを始め、丸カを瀬戸を代表する陶磁器玩具類の卸商として押しあげていった。そして柳平は、大正三年(一九一四)に丸カを辞し、独立・開業し、山城柳平商店を創業することとなる。続いて、昭和九年(一九三四)には、素地製造部門として合資会社丸山製陶所を設立し、同十二年(一九三七)には、山城柳平商店と丸山製陶所を合併して丸山陶器合名会社を設立している。この中で、山城柳平は常にセト・ノベルティの先駆者であり、ビスク人形・ドレスデン人形・大形人形等の開発に貢献し、それらの生産をリードしていった。また、加藤左久衛(後に山サ製陶を創業)、白土博雲(後に博雲陶器を創業)、川原茂男(後に光和陶器を創業)等、丸山陶器で育った者が独立していったことによっても、セト・ノベルテ

イ業界は活性化していくことになる。

ドレスデン(マイセン)人形の生産

ドイツ東南部には、「エルベのフィレンツェ」と別称されるドレスデンが在り、そのドレスデンの西約50kmには、世界的にも有名な陶業地マイセンが在る。ここでは、十七・八世紀風の衣装を付けた男女の人形が生産されており、ドレスデン人形またはマイセン人形と呼ばれていた。これらは、ヨーロッパやアメリカの上流階級向けに作られていたものであり、大変高価なものであった。特にアメリカの人々にとっては、自分達が移民してきた欧州の文化をまとったものであり、郷愁をさそうものであったこと、また、これらの人形を家庭に飾ることがステータ

スシンボルとなったことなどから、高嶺の花ではあったが、是非とも欲しいものであった。こうしたアメリカ中流層の思いを察知した森村ブラザーズは、昭和七年(一九三二)頃、これらの人達をターゲットとした廉価で且つ精密なドレスデン人形の生産を企画することになる。しかし、当時生産されていたビスク人形やドレスデン風の人形とは比較にならないほど複雑な形状を有するドレスデン人形は、原型・製土・石膏型・絵付・焼成など各部門で新たな技術が必要で、加えて精密な作業が要求されたのであった。そして研究・努力の結果、同十年(一九三五)、丸山陶器において、瀬戸製ドレスデン人形(図4)は完成したのである。このドレスデン人形製造の成功により、セト・ノベルティが世界に肩を並べたのであった。

以後、丸山陶器によるハンメル人形(図5)の製造成功や、後藤松吉によるレース人形(図6)の開発、商工省陶磁器試験所における白雲陶器の開発がなされていったことにより、一九三〇年代にはセト・ノベルティの生産技術は一応の完成をみた。しかし、すぐに戦争の時代へと突入し、輸出中心であったセト・ノベルティの生産は、中断を止むなくされる。

戦後のセト・ノベルティ

戦後の瀬戸窯業は、戦災をほとんど受けてい

なかつたことや、戦後の物資不足による生活用品の需要が高かつたことなどにより、復興への道を確実にそして急速に歩んでいった。戦時中に途絶えていた輸出も、制限付きながら再開されていくこととなるが、輸出する商品には、占領下の日本を意味する「Occupied Japan」(図7)の銘を必ず入れなくてはならなかった。当初輸出していたものは、戦前に生産し在庫として抱かえていたものや、戦前の型を使用して生産したものであったが、輸出が本格的に再開されると、すぐに高品質のものが生産されていくようになった。そして、18インチ(約45cm)(図8・9・10)の高さを持つ大形人形の製造も可能になるなど、セト・ノベルティは最盛期を迎えていくことになる。また、各メーカーごとに、自社の特色を生かしたノベルティが生産されるようにもなり、多種多様なセト・ノベルティが生産され、世界中にセト・ノベルティが販売されていくことになる。ここに、ヨーロッパのノベルティの模倣に始まった瀬戸のノベルティが、ようやくその模倣から脱し、「セト・ノベルティ」として自立し始めたのであった。

現在では、円高や東アジアの生産地の台頭などによって、セト・ノベルティの生産は低迷を続けているが、その技術は、心ある方々によって守られている。

館蔵資料紹介【四】 明治村の雛飾り

はじめに

明治村の館蔵資料に、竹尾コレクションという郷土玩具・人形コレクションがあります。これは、愛知県豊橋市の竹尾藤市氏が日本各地より収集したもので、竹尾氏が急逝された昭和五十九年にご遺族から寄贈していただき、その数およそ八千点にのぼります。明治村ではそのコレクションを広く紹介するため、お正月の干支にちなんだ展示や、春の季節には雛飾りをしています。

雛人形の歴史

雛人形の源を遡ると①三月上巳(最初の巳の日)に紙や植物で作った形代で身体をなで、穢れや禍いを払い、それを水に流す平安時代頃からの習俗②平安時代「ひいな」という小さくかわいらしくつくった人形で遊ぶ、ひいなあそび—ままことあそび—。



押し絵雛(長野県)

この2つの習俗にさらに形代の代表ともいえる「天児」「這子」といった幼児の禍や穢れを肩代わりする人形が結びついて、その原型をつくったといわれています。

①のなごりを強くとどめるものに、流し雛があります。鳥取県の流し雛は、赤い因州和紙の衣裳に土の丸い頭をつけたもので、旧暦の三月三日に二組求め、雛段に飾ったあと、一組を残し、他の一組を前年の一組とともに、棧俵や折敷にのせて川に流します。

雛人形が大きく変化するのは江戸時代で、紙製の立姿の雛から、次第に裂を用いた座った姿の衣裳雛がつくられるようになります。内裏雛の登場です。飾り方も、平置きから段飾りへ、そして、官女、隨身、5人囃などの決まりものも登場します。

これら衣裳雛は、上手ものと呼ばれ、高価であったため、それらを手に入れにくい地方では、こどもの成長を願って土製の人形、土雛をつくりました。その産地は全国に約百ヶ所もあり、源流は京都の伏見人形にあるといわれますが、地方で独自性が加わり、様々な表情を見せています。これは明治の半ばごろ急速に普及しました。

現在の画一化された雛飾りからは想像し難いかもしれませんが、土雛には飾り方のルールなどはあまりなく、福助、大黒、花魁、娘、馬乗り武者など様々な人形を思い思いに飾りました。

人々に育まれた雛人形は、土に限らず、他の様々な素材でもつくられました。江戸時代に流行した押し絵の技術を用いた押し絵雛は、厚紙で型をとった



流し雛(鳥取県)

上に、裂を張り、その中に綿を入れて立体感をもたせたもので、現在もお正月に飾る羽子板などにその技術を見ることが出来ます。長野県松本の押し絵雛は飾るときには竹串の部分で台座に差し込み飾ります。

おわりに

地方特有の玩具は、雛人形に限らず、少しずつその姿を消しつつあります。

竹尾コレクションの中には、もう既に製作されることのないなくなった玩具、人形もあります。そのような資料をこれから少しずつご覧いただけるようにしたいと思っております。

「雛飾り」は四月四日まで

「桃と端午の節句飾り」は五月三十日まで

参考文献

- 「雛と雛道具」(毎日新聞社、昭和54年)
- 郷玩文化 25(郷土玩具文化研究会、昭和57年)
- 郷玩文化 35(郷土玩具文化研究会、昭和58年)

平末綾子(当館学芸員)

「明治村修景改造計画」

古都と呼ばれる町には有名な庭園がありま
す。熊本水前寺公園、岡山後楽園、高松栗林公
園、金沢兼六園、水戸偕楽園など。これらと違
って一般に余り馴染みの無い、それでいて大変
美しい庭園もあります。その代表格は、京都の
桂離宮と修学院離宮、東京の皇居と赤坂離宮で
しょう。古都にある庭園の多くは、江戸時代以
前の貴族の屋敷内や大名の城内に作られたか
ら、殆どが平坦な場所にあります。池を掘り、
山を築き、石を据え、土を入れて木を植える。
いろいろな自然の造形を、歩き回れる広さの中
に具合良く取り揃えた形で作られています。し
かし、いま挙げた庭園の中で、平坦地ではなく
山に作られた庭があります。修学院離宮です。
(図1)山の麓から上へ向けて、あるところは
比較的平坦な場所を使い、ある場所では傾斜を
利用して、周辺の起伏をありのままに生かしな
がら作られています。離宮として造営された時
から三百年、毎年毎年花が咲き、落葉は散り敷
いても、折々に新しく植え替えられた樹木によ

って、全体としては形を変えることもなく、た
ぶん自然のまま以上に自然な姿に留められてい
るのでしょう。ですから、いつまでも若々しい
庭園であり続けられるように思われます。修学
院離宮の庭が若々しく見えるもう一つ理由があ
ります。周辺の山々から平野まで雄大な遠景を
も取り込んで作られており、空が広く、全体に
明るくなり、木々も池の水も明るく、若々しく
感じられるのです。日本的な「わび、さび」を
求めるならば、他の庭園のように、箱庭の中の
苔むした石や池や庭木が適切なものかもしれませ
んから、修学院離宮は少し異質な庭だといえま
す。そのような明るい庭園は日本建築よりもむ
しろ西洋建築あるいは明治建築に似合うと思わ
れます。そんな観点から、いま明治村の修景を
修学院離宮の庭園を一つの手本として改造しよ
うと計画しております。

昨年の秋の「明治村だより」に寄せた「成長す
る明治村の森」の記事以降、明治村の樹木をも
っと美しくそして強いものにするために、手を

風が今までに例がないほど強い風であったとは
思われません。まだ若木で樹高の低かった頃は
風にあおられることも無く無事であったのです
が、山の起伏を越えて大きく成長した今、大風
をまともに受けて、根こそぎというより、薄い
根もろともひっくり返されてしまったので
す。
伸びすぎた樹木を概ね人の目の高さには押さ
えることにより、山の起伏をそのまま樹木の波に
生かす。その山並みの中に松や桜、樺、もみじ
などが点景として或いは群落として景色を彩
る。そんな風景に造り変えようと考えています。
林のなかの苑路に沿って歩むと、木々の陰から
数々の家が出現してくる、といった従来の明治
村の情景を、林あり、開けた丘陵地あり、芝生

あり、池や川あり、その間を流れる風と光、と
いった変化に富む明るい明治村に改造しよう
という計画です。S Lや京都市電の眺めを楽しい
ものにもしたい。目の前の入鹿池を取り込
んで、近景、中景、遠景など様々な眺めを楽しめ
る庭園に変貌させたいのです。手本は京都修学
院離宮です。大刈込み、池をめぐる回遊路、広
場、どれをとっても私たちの心に響く姿がそこ
にはあります。自然と日本人の関わり方は何百
年前の貴族に於いても、百年前の明治人に於い
ても、現代人においても変わりのないものであ
りましょう。
いま、新たな挑戦を始めるについては、他に
大きな目的が二つあります。樹木に隠れてしま
った文化財建造物をもっと日のあたるようにし

て見易くまた長持ちさせようという意図があり
ます。もう一つの目的は樹木資源のサイクル化
です。落葉の利用は細々ですが既に始まっ
ています。農業用の有機肥料として近隣の農家に
さしあげており、先方では牛糞などを混合して
良質の堆肥を作っています。太く成長した雑木
の利用方法としては次のようなことを計画して
います。コナラは椎茸の栽培に使います。その
他の樹木は太さに応じて、S Lの火付け用の薪
として、或いは山道の土留め、手摺り、さら
には広場の木煉瓦に利用します。落葉と同様、何
年かの後には、再び土に還って行くのです。
このようにして、愛知万博の前には明治村は
大きく生まれ変わっています。

西尾雅敏(当館建造物担当部長)



図1 修学院離宮の大刈込み



図2 二十年前の風景。木曾御嶽山が望まれる。



図3 現在の風景

「明治村の蔵書について」 其の二

日本赤十字社中央病院棟は、昭和四十九年三月十八日に明治村へ移築公開された建造物です。この建物は明治二十三年十二月、後に赤坂離宮などを設計し宮廷建築家と称された片山東熊により、現在の東京都渋谷区に建てられたもので、ハーフティンバー様式の外壁、軒先には華やかな透かし軒飾りを廻らし、屋根の上の三つの換気塔が一際目を惹きます。

この建物と同時に、多くの書籍・文書類が日本赤十字社から寄贈され、博物館明治村で保存され



写真1 日赤文庫文書綴目次



写真2 日赤文庫文書綴



写真3 日赤文庫文書綴博覧会報告



写真4 日赤文庫図書
オーストリア赤十字雑誌
1897年

ていることをご存知の方はあまり多くはないでしょう。蔵書紹介三回目の今回は現在整理作業を進めておりますこの日本赤十字社文庫（以下、日赤文庫と略す）の概要について紹介させていただきます。

日本赤十字社は西南戦争の傷者の救済を目的として設立された「博愛社」がその前身です。

明治十年五月に博愛社設立が許可され、小松宮彰仁親王を総長に迎え、提唱者の一人である佐野常民を副総長に、活動を開始しました。

赤十字は戦時における戦傷者の看護を目的として、アンリ・デュナンの提唱により一八六四年創設された国際組織です。ヨーロッパでの赤十字活動を展開した佐野常民は、明治十年二月に始まった西南戦争の惨劇を伝え聞き、大給恒とともに同年五月博愛社を設立し、敵味方の区別無く傷病者の救護にあたりました。

明治十九年十一月十五日に日本政府のジュネーブ条約加入に伴い、翌二十年五月に社名を「日本赤十字社」と改称し、また同年十月、万国赤十字

社に加盟しました。初代の日本赤十字社総裁は小松宮彰仁親王、社長は佐野常民でした。

博愛社時代からの日本赤十字社の事業は「戦時事業」と「戦時に対応できる救護員の養成の平時事業」の二点でしたが、明治二十五年には「天災救護」を加え、以後時代の要請に答え、現在の事業は大きく分けて、戦時救護、災害救護、公衆衛生の推進となっています。

日赤文庫は以下の三種に分類されます。

- (一) 日赤の文書綴 約一八九〇冊
- (二) 日赤図書館旧蔵の図書 約一四〇〇冊
- (三) 記録写真や博覧会などで展示した写真類 約二二〇〇点

他の明治村の文庫とは大きく性格が異なることがこの分類からもおわかりいただけるでしょう。今回は整理作業が一段落した文書綴・図書の概要を紹介いたします。

この日赤文庫を特徴づけるものは何と云っても文書綴でしょう。これらは明治十年代から第二次世界大戦開戦前までのもので、厚表紙をつけ、背

師の日誌等々おびただしい量の記録が遺されています。

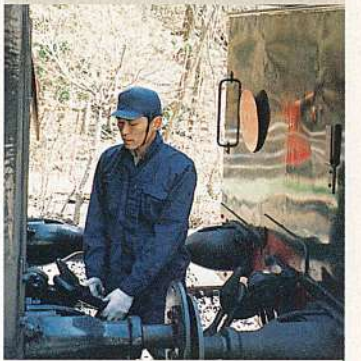
図書の特徴としては外国の赤十字社と交換した雑誌（写真4）が挙げられます。雑誌を交換した国々はヨーロッパでは、ドイツ（ババリア・プロシア・ザクセン）・フランス・イギリス・スイス・リトアニア・オーストリアなど二十ヶ国以上、その他の地域ではアメリカ・トルコ・タイ・ブラジル・コンゴ・オーストラリアなど全世界に及び、その数は三百冊にのぼります。年代的にも一八九〇年代後半から、一九三〇年代までと世界が大きく揺れ動いた時期のものでそれぞれが赤十字の活動状況から、各国の当時の様子を垣間見ることができると思います。

その他に収められている図書の分野は、明治大正期の戦災救護報告書および災害救助報告書、医療関係をはじめ博物館学・図書館学にまで及んでいます。

日赤文庫はご予約頂いた上での閲覧という形で、これまでも研究者の方々の要望に応じてまいりました。今後、日赤文庫の文書綴・図書の目録をCD-ROMに収め、希望者に頒布する予定です。これを多くの方に活用していただき、明治時代の研究の一助としていただければ幸いです。

中野裕子（当館学芸員）

明治村の仕事 2



今回は、明治村で一番人気のある乗物、蒸気機関車（SL）の職場を紹介します。
SLは、子供ばかりでなく大人も童心に帰って楽しめるものです。
当館では、昭和49年から動態展示として、イギリス製12号機関車とアメリカ製9号機関車に3両の客車を連結して走らせ、村内750メートルを時速10kmで1日24回（日祝は31回）シフトオンは減る、運行しています。
SLをこのようなかたちで通年運行させているのは日本では明治村だけです。
この職場には現在6名が働いていますが、その1人機関士の反端一也さんにお尋ねしました。

— SL職場に配属されて何年になりますか。
4年になります。

— SL職場の仕事の詳細を説明して下さい。

SLの仕事は役割分担がありまして、実際に運転する「機関士」、機関士の隣りで燃料の石炭をくべる「機関助手（ポイラーマン）」、「車掌」、他に乗物に乗らない者として「駅員」、その他石炭管理や清掃などの雑用作業があります。



— 乗車されるお客さんの反応は如何ですか。
汽車というのとは何ととっても煙を出し



これらの仕事を交代でやりますので、その日の役割は毎日違ってきます。朝はまず石炭を積むことから準備を始めます。石炭は一日で約300kg使います。蒸気圧力ゼロの状態から、薪に点火し石炭を焚いてポイラー蒸気圧を5キロ以上に上げ、常時7キロ前後に保つための準備を行います。ここまでで約1時間かかります。準備が出来たところで運行開始となります。

— SLを動かすには資格が必要と思いますが、どういうものですか。

「機関士」と「ポイラー二級」です。取得するには専門技術（ポイラー技術）を実質一ヶ月かけて習得し、二ヶ月の運転訓練があります。まあ難しいといえは難しいかもしれません。

— SLを運行するにあたり、特に注意を要する点は。やはり終日安全に走るということが第一ですし、決められた時間通りに運行することが大事だと思います。またそれが一番苦労する点でもあります。

ている車ですから、黒煙が上がると皆さん驚かれるのがほとんどで、中には悲鳴を上げている人もみえます。お客さんは子供とか年配の方が多いようです。年配の方は、SLの音や匂いを懐かしみ私たちによく話しかけられます。また何を焚いているのか興味があるようで、運転台をよく覗きにこられます。

— SLを扱うにあたり何か問題点などありますか。
問題というほどではありませんが、SL12号と9号では製造した年代が40年近くも開いており、各種機械の取りつけ場所や取扱方法も違っておられます。二つの機関車を交互に運転しているの、それを混同しないように気をつけることです。

— 今後何か工夫したいとか要望などがありますか。
今、ある程度責任ある立場にいますから、毎日進歩させようと思っかけてはいます。なんといってもお客様第一ですから、沢山の人が乗ってもらえることを願っていますし、またそれがやりがいがあるということにも通じると思っています。

— どうもありがとうございました。

明治村に高らかに響き渡る汽笛、この郷愁を誘うような音色をうらやましいと思う人は多いのではないでしょうか。しかし、耳元で鳴らす機関士にとっては聴覚障害を起しかねない代物です。こうした厳しい環境にもかかわらずこの職場に元氣はつらつらの若者が多いことは頼もしい限りです。石炭などの燃料費が高いためSLの維持費はかなり高くなります。しかし百年以上も前の汽車がまだ現役で走っているということは価値のあることだと思われま

— 今後も多くの方々に乗車していただくことを願っています。

第三十二回 明治村茶会

明治村には全国から六十三棟の建物が移築公開されています。建物を知るには、その中で憩うことが一番良く、明治村茶会はその一つの姿です。茶を共通の話題としてひとときを過ごしてみませんか。

茶席

◎坐漁荘・亦楽庵席

細見美術館（京都）

細見美術館は、細見古香庵にはじまる細見家三代にわたる蒐集品により、平成十年三月に京都岡崎の地に開館しました。かねてよりその質・量ともに日本美術を網羅した感のあ

るコレクションは、内外より高い評価を受けています。

今回はそのなかでも特に茶道美術の名品を選びすぐつてご紹介いたします。

◎無声堂席

「鼎談茶会」（本多静雄）

明治村茶会章創期の三人にご登場いただきます。

日時 4月21日（水）・22日（木）
10時～16時
臨時会費は22日のみとなります。
会費一五、〇〇円（臨時会員）
事前に臨時会費券（明治村・名鉄駅旅行センターなどで発売）をお買い求め下さい。

建築家谷口吉郎（博物館明治村初代館長）は建築空間を創ることによって、実業家土川元夫（元財団法人明治村理事長）は剣道と共通する清浄な緊張感を通して、書家田山方南（元財団法人明治村常務理事）は茶席を飾る書を書くことの喜びをもって、茶の席に集いました。重なり合うことのない異なった才能が結集されて実り豊かな茶会が生み出されます。三十年前の初心を今検証してみよう

「鼎談」と名づけました。

◎日本庭園・野点席

十五代坂倉新兵衛（山口・長門）

萩焼は、豊臣秀吉の時代、朝鮮の名工李氏が毛利家に属して萩に開窯したのがそのはじまりとされます。明暦三年（一六五七）、二代山村新兵衛光政が長門深川窯を開き、以来現在にいたるまで同地で伝統が受け継がれています。

優れた造形力と暖かみのある萩の土とが繊細に融合した作風をもつ十五代坂倉新兵衛氏の新作をご紹介します。

◎点心席

三重県庁舎一階
名鉄大山ホテル調製

明治村花暦



かたくり

花の名前	3月	4月
ショウジョウバカマ	_____	
こばのみつばつつじ	_____	_____
かたくり	_____	_____
そめいよしの	_____	_____
ボケ	_____	_____
あせび	_____	_____
ゆきやなぎ		_____
レンギョウ		_____
しだれ桜		_____
こぶし		_____

花の名前	4月	5月
どうだんつつじ	_____	
アメリカハナミズキ	_____	_____
さつきつつじ	_____	_____
八重桜	_____	_____
平戸つつじ		_____
藤		_____
ひとつばたご		_____
山吹		_____
花菖蒲		_____



ゆきやなぎ

春・花・夢……明・治・村

3月20日（土） → 5月30日（日）

卒業メモリアル

3月1日（月）～31日（水）
袴姿の卒業生は入場無料。一般の卒業生も半額とします。

春の味覚

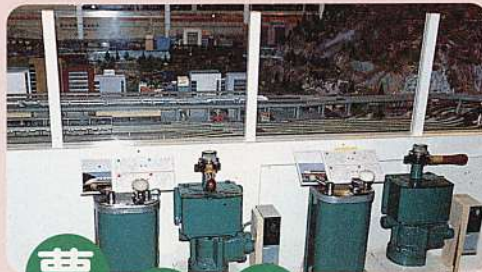
アンパン・あいすくりん屋台

土・日・祝
無声堂前
明治の味が屋台に新登場しました。

駅弁売り登場

5月の日・祝
SL東京駅・名古屋駅
明治の駅弁売りが当時のスタイルでお目見えます。

◎明治村は、従来の正門に加え、北入口を開設しました。
乗用車でお越しの方は、駐車場から直接お入り頂けます。



夢の世界へ

少年の見た夢

「電車の運転士になろう」
期間中毎日 名鉄岩倉変電所
運転台シュミレーションによる体験コーナーを特設しました。

第23回明治村剣道大会

4月11日（日）
無声堂
八段以上の範士・教士が全国から集い、内閣総理大臣杯を目指して技を競います。

特

漂泊の詩人 啄木

～喜之床で詠んだ夢～
会期 4月3日（土）～29日（祝）
会場 本郷喜之床 2階 <特別公開>
石川啄木の著作・書簡・遺品など30点を展示します。

展

別

きらめく夢人形

～欧米を魅了した瀬戸ノベルティ～
期間中 毎日
会場 三重県庁舎1階
瀬戸の輸出産業の花形であったノベルティ丸山陶器（株）所蔵の陶磁器人形約80点を展示します。

イムトリップ

ハイカラドレスで夢散策

日曜・祝日 12:00～、14:00～
三重県尋常師範学校・蔵持小学校で受付。
貴婦人ドレスにフロックコート、和服を貸出します。
今回は子供用の衣裳も用意しました。

*催事は都合により変更する場合がありますので、詳細については事前にお問い合わせ下さい。